

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年7月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年7月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは[月報](#)をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の新車販売の合計は18.2台で、前年同月に比べ0.7台減の96.3%である。前年同月比で上回った車種は、幼児車120.0%、スポーツ車108.3%で、横ばいが電動アシスト車、下回ったのがシティ車92.1%、ホーム車96.2%、折りたたみ車75.0%、子供車92.3%、マウンテンバイク83.3%である。また前月比では、マウンテンバイクのみが83.3%と下回ったが、そのほかの車種は上回っている。

中古車は前年同月比では95.7%と下回っているが、前月比では110.0%と上回っている。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「梅雨明けが例年より10日ぐらい早くなり、暑い日が続いて日中街に人の姿がありません」(宮城)、「猛暑と大雨で最悪の7月だった」(長野)など暑い日が続き自転車の販売に苦慮しているところもあるが、「電動アシスト車への関心が多くなってきた」(東京)、「今月はスポーツ車中心に例年どおりの販売ができた」(山梨)、「相変わらずスポーツバイクの売れ行きが好調」(岐阜)、「電動アシスト車の買い替えやスポーツ車、三輪車の販売があったので売上げは伸びた」(愛知)、「電動アシスト車の問合せが増えてきたかなと思う」(山口)、「7月前半は自転車販売、部修も最悪、後半夏休みに入り部修も増え、スポーツ車、電動アシスト車でやっと前年並みくらいになった」(福岡)などスポーツ車と電動アシスト車は相変わらず好調のようだ。また「夏休みを利用してロングツーリングを計画しているユーザーが増え、パーツや工具類の販売、輪行の技術を教えてほしいとなどで閉店までにぎやかな毎日だった」(東京)とこの時期ならではのコメントもあった。

さらに「修理もタイヤ交換などが多かった」(北海道)、「元々タイヤ・チューブ交換の増加が見込める時期だが、7月は例年を大幅に上回る本数だった」(東京)、「修理もタイヤ・チューブの取り替えが多くあった」(愛知)、「暑さのせいかタイヤ交換が多くなった」(佐賀)など修理に関するコメントも多く、タイヤ・チューブの交換が酷暑のせいか目立った。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成23年7月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.5	17.2	3.0	16.3	116.7	3.8	17.9	92.1
ホーム車	7.6	37.3	6.9	37.5	110.1	7.9	37.3	96.2
折りたたみ車	0.6	2.9	0.6	3.3	100.0	0.8	3.8	75.0
子供車	1.2	5.9	1.1	6.0	109.1	1.3	6.1	92.3
幼児車	0.6	2.9	0.5	2.7	120.0	0.5	2.4	120.0
マウンテンバイク	0.5	2.5	0.6	3.3	83.3	0.6	2.8	83.3
スポーツ車	2.6	12.7	2.4	13.0	108.3	2.4	11.3	108.3
電動アシスト車	1.6	7.8	1.3	7.1	123.1	1.6	7.5	100.0
合計	18.2	89.2	16.4	89.1	111.0	18.9	89.2	96.3
中古車	2.2	10.8	2.0	10.9	110.0	2.3	10.8	95.7
総合計	20.4	100.0	18.4	100.0	110.9	21.2	100.0	96.2
モーターバイク	0.5	2.5	0.5	2.7	100.0	0.4	1.9	125.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回8月の販売動向調査結果は9月末にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会